

# 第13回（昭和56年度）日本映画照明技術者協会 照明技術賞

|             |          |                    |    |       |
|-------------|----------|--------------------|----|-------|
| 劇映画部門       | 技術賞      | 駅STATION           | 担当 | 望月 英樹 |
| 劇映画部門       | 特別賞      | なんとなくクリスタル         | 担当 | 佐久間丈彦 |
| C. F. 部門    | 技術賞      | サントリーレッド絵本篇        | 担当 | 久米 光男 |
| C. F. 部門    | 特別賞      | 光と生きる              | 担当 | 佐野 武治 |
| 非劇映画部門      | 奨励賞      | 美酒の諧調              | 担当 | 松野 要  |
| V. T. R. 作品 | 奨励賞      | 北の国から<br>(56年度放映分) | 担当 | 本間 利明 |
| 協会賞         | 秋山清幸（電通） | 矢口 明（本协会会员）        |    |       |

## 劇映画部門

技術賞 駅STATION

東宝映画



望月英樹  
昭和12年6月4日生

昭和31年4月、東宝照明係として入社、昭和52年、日ソ合作映画「白夜の調べ」日本側照明担当となる。  
55年、「復活の日」で、日本アカデミー優秀賞。56年、「帰って来た若大将」「駅」。現在「海峡」を担当。

選定理由：風雪厳しい北海道を舞台に、男と女の微妙なふれ合いを、拡散光を多用して時に暖く、時に冷たく、ナイーブに描ききった密度の高いライティングは本年度の照明技術賞に値すると認めます。

## 劇映画部門

特別賞 なんとなくクリスタル 松竹



佐久間丈彦  
大正14年12月31日生

昭和22年松竹大船入社。昭和37年第1回作品、大槻義一監督「背くらべ」代表作。今井正監督「あ声なき友」。木下恵介監督「衝動殺人、息子よ」「父よ母よ」があり、その他渡辺裕介、瀬川昌治、井上梅次、山根成之等の作品多し。

選定理由：フジハイエース(A.S.A.250)の特性を最大限に發揮して、カクテル光線の氾濫する現代の世相を、数少ないライトで大膽に表現したそのライティングは、今後の照明技法の一つの道標たりうるものであり、本年度の照明特別賞に値すると認めます。

## C.F. 部門

技術賞 サントリーレッド絵本篇 渡辺企画



久米光男  
大正14年11月2日生

昭和21年東宝照明部入社。昭和26年よりフリー。PR映画テレビ映画担当。昭和26年以降「おとし穴」「砂の女」「他人の顔」等担当。昭和43年以後CMの担当が多くなる。  
昭和46年度協会照明賞CM部門「ポーラ化粧品・温室の中」で受賞。

選定理由：愛着、愛情をドラマ的に商品コマーシャルに、強烈なハード・トーンでたたき込み、かつ専属タレントの個性を素敵に表現したライティングは、本年度のC.F. 部門照明技術賞に値すると認めます。

## C.F. 部門

特別賞 光と生きる 東北新社



佐野武治  
昭和5年5月11日生

昭和22年松竹京都撮影所入社。昭和32年、技師となる。昭和40年同撮影所閉鎖により、フリーとなる。代表作に中村登監督「古都」篠田正浩監督「沈黙」「はなれ瞿女おりん」黒沢明監督「影武者」などがある。

選定理由：和洋それぞれの遮光型式の表現技術の巧みさは勿論であるが、特にコマーシャル商品であるブラインドもれの陽光に留意努力した効果は本年度C.F. 部門照明特別賞と認めます。

## 非劇映画部門

奨励賞 美酒の諧調 シネジャーナルプロ



松野 要  
昭和13年12月12日生

昭和33年映画界入り、高橋照明をふり出しに英映画、シネジャーナルプロ、松岡プロで照明をする。第1回作品昭和38年、日活TV映画「海の音」。昭和42年、下村一夫氏に師事し、東宝のコント55号シリーズ、「日本スリ集団」「命棒にふろう」その他を担当。

選定理由：醸造される日本酒の過程を、限定された室内ロケの不自由さの中にもかかわらず、シャープな光を基調として、見ごとに表現した技術は本年度非劇映画部門の照明奨励賞と認めます。

## TV映画部門

奨励賞 北の国から (56年度放映分) フジテレビ



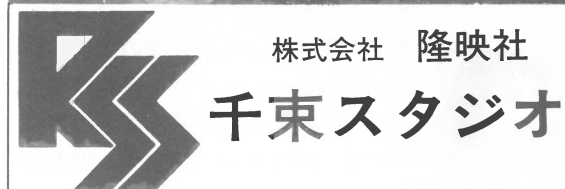
本間利明  
昭和13年4月15日生

昭和33年松崎照明研究所入社。松崎国雄氏に師事し舞台照明（洋舞）をまなぶ。  
主な作品「悪の紋章」「白い巨塔」「陽は又昇る」「和宮様御留」の照明など。

選定理由：長い北海道ロケにおけるたゆまぬ製作意欲と、巧みな技術が作品にもたらした効果と、ロケマッチの安易さを排したリアルなスタジオ照明はVTR作品として、本年度の照明奨励賞と認めます。

## 候補作品一覧表

|                          |           |       |
|--------------------------|-----------|-------|
| 劇映画部門                    |           |       |
| 野菊の墓                     | 東映        | 梅谷 茂  |
| 子供の頃戦争があった               | 松竹・ぶんこうプロ | 野田 正博 |
| 駅STATION                 | 東宝映画      | 望月 英樹 |
| なんとなくクリスタル               | 松竹        | 佐久間丈彦 |
| 北斎漫画                     | 松竹        | 野田 正博 |
| 泥の河                      | 木村プロ      | 島田 忠昭 |
| 遠 雷                      | につかつ      | 加藤 松作 |
| ええじゃないか                  | 松竹・今村プロ   | 岩木 保夫 |
| 特撮部門                     |           |       |
| 連合艦隊                     | 東宝映画      | 森本 正邦 |
| C.F. 部門                  |           |       |
| マクビティービスケット<br>(明治製菓)    | 電 通       | 酒井 正弘 |
| アウスレーゼ(資生堂)              | 電 通       | 船 津 勇 |
| “光と生きる”(立川ブラインド)         | 東北新社      | 佐野 武治 |
| ナショナル<br>コンポーネント2(ナショナル) | 東北新社      | 北出隆之進 |
| バスボン石鹸“父と娘”(資生堂)         | 俳優座映画放送   | 高富 文夫 |
| サントリーレッド(サントリー)          | 渡辺企画      | 久米 光男 |
| サントリーリザーブ(サントリー)         | トム企画      | 佐野 武治 |
| その他の部門                   |           |       |
| 美酒の諧調                    | シネジャーナル   | 松野 要  |
| ミ チ コ                    | 日本映画研究所   | 小林 宗  |
| 北の国から                    | フジテレビ     | 本間 利明 |



株式会社 隆映社

千束スタジオ

○13m(奥行)×9m( Horizont 巾)×6m(高さ)

○電気容量 120kw

○メーキャップルーム ○シャワールーム

○フィルム交換用暗室 ○控 室

○駐 車 場 ○冷 暖 房

☎東京(03) 727-3621(代)

東京都大田区北千束2-26-1(マンション千束苑内)